



第61号

こまがた元気会だより



「駒形元気祭り」は9月20日（日）に開催！

前地域おこし協力隊の椿春樹さんが一昨年に立上げ、9月に開催して子どもさんを中心に好評をいただいている「駒形元気祭り」につきまして、クマの出没も心配しておりましたが、竹屋集落内で3頭（親1・子2）の捕獲もあったことから、なお用心しながら開催することとしました。引き続き椿さんの協力をいただき「祭りで駒形を元気にし隊（代表：吉井藤志彦さん）」が企画・運営します。駒形小学校の皆さんには改めてチラシをお届けします。



昨年度の様子1

- 開催日時 令和8年9月20日（日）午後3時～8時
- 会場 駒形げんき交流館「よっか」（竹屋）の屋内と庭
- 内容 型抜きやスーパーボールすくい、eスポーツほかゲーム、
焼き鳥、焼きそば、飲み物などのフードコーナーもあります。
※ボランティアスタッフ募集中！・・下記元気会事務局に連絡ください。



昨年度の様子2

「じゃんがら」も9月20日（日）に来ます！

「じゃんがらを招く駒形の会（代表：椿芳侑さん）」からのお知らせ。有名ないわきの「じゃんがら念仏踊り」が駒形に来ていただけます。荒田目保存会（約10人）の皆様です。「風の電話」の落成法要、ご先祖や亡くなられた方々の供養、各地に続く災害の終息と平穏な社会への願いなど、諸々の想いを込めて踊っていただくとのことです。

- 日時・場所 第1回目 午後2時半頃 金川寺境内（金川地区）
第2回目 午後3時頃 「風の電話」前（竹屋地区・故辺見幸敏さん宅敷地内）
- 問合せ先 下記元気会事務局をお願いします。

※じゃんがら念仏踊り：いわき市を中心に分布・伝承する郷土芸能で、鉦、太鼓を打ち鳴らしながら新盆を迎えた家などを供養して回る踊念仏の一種。江戸時代前期に当地出身の高僧祐天上人が村人達の慰安と念仏の普及を兼ねて広めたとも伝えられています。地区毎の青年会・保存会等により継承されています。



令和8年9月1日 発行：こまがた元気会

《連絡先》喜多方市塩川町竹屋丙30-1（駒形げんき交流館）

電話 080-2805-1050（事務局：大平）

メール koma.genki7.7@gmail.com

《編集協力》NPO 法人かけはし 喜多方市塩川町小府根字曾谷田1 イオンタウン塩川内



《公式HP》

新鮮野菜を食べてくなんしょ！



こまがた元気マルシェのメンバーの須田栄子さん（深沢）。この夏の猛暑かと思えば大雨、時にはイノシシの被害に遭ったりする中で、毎日、丹精込めて育てた野菜を出荷していただき皆勤賞です。「大変だけど楽しみでもあるから。みんなに美味しい野菜を食べてほしくてね！」とお元気です。

※マルシェに出荷するお仲間募集中！元気会事務局に連絡いただければ即出荷できます。



鉄道博に参加する学生さんたちが来てくれました！

9月22日（火）23日（水）には県主催の「磐越西線ふくしま鉄道博2026」が塩川体育館・公民館を会場に開催されます。そこで鉄道の活用に関する企画を発表する学生さんたちが沿線を訪問する事前研修があり、「よっか」にも8月19日（水）に、桐蔭学園（横浜市）5名、日大工学部2名の学生さんたちが来てくれました。本番での発表（22日午後の予定）が楽しみです。



「風の電話」を見学

今年も教育旅行の受入れがいっぱい行われています。

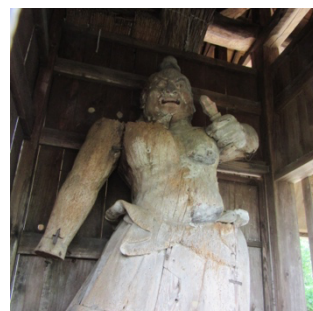
地方での仕事や暮らしを体験する教育旅行の受入れが、グリーンツーリズムサポートセンターを通して進められ、駒形地区の受入先でも、1日～3泊4日などのコースにより学生さんの受入れを行っています。

「農家民宿おとや」（紙子：物江洋一さん）では明治大学酪農クラブの学生さんが毎年訪れ、今年も9名が3泊4日で農業の体験活動などを行っています。



「こまがた見てある記」事業スタートしています！

駒形地区の歴史・文化遺産などを実地に見て歩き、魅力の再発見や課題等を把握しようという今年度の新規事業「こまがた見てある記」がスタートしました。まずはお膝元からということで7月6日（月）には、竹屋観音寺さんを訪問しました。日本遺産に認定されている会津三十三観音巡りですが、その認定継続にはいろいろと課題がある中、八番札所の竹屋観音寺さんのある地区として多くの人々に訪れていただける環境整備に何らかの協力ができないかとの思いを新たにしました。



◇心配な事

上：仁王門の仁王像（二体）の痛みが激しいこと

左：南側入口にある頌（しょう）徳碑の台座・柵が劣化しコンクリートの剥離も見られること



◇意外に知られていない 萩原盤山（はぎわらばんざん）（江戸時代後期の若松出身の画家）の絵馬

